

都市計画道路を考える 小金井市民の会

第40号 2019年7月4日
発行 都市計画道路を考える
小金井市民の会
連絡先 電話090-7847-3968 (事務局:阿部)

道路市民の会 第4回総会開く

「交通量増大」を理由とした優先整備路線決定の根拠崩れた 野川ほたる村の江頭さんが都の開示資料を分析して講演

6月23日、道路市民の会第4回総会と江頭さんによる講演が行われ、41人の方が参加しました。

第4回総会は、最初に川島共同代表が開会のあいさつ、次いで、道路住民運動全都連絡会の代表の長谷川さんがあいさつを行いました。長谷川さんから、都が第四次事業化計画で交通量の「将来予測をしたのは平成17年の交通センサスに基づくもの交通量が増えるというのはいずれも得ないなど、交通量の都の予測の問題点などについて話されました。

総会に出席された4人の市議会議員、水上議員、森戸議員、板倉議員、坂井議員から挨拶をいただきました。また、片山議員からは都合で出席できないとの連絡をいただいたことを紹介しました。

そのあと事務局から、一年間の活動の経過と今後の主な取り組みについて報告と提案、会計から決算報告と予算の提案が行われ、質疑と意見交換を行って閉会しました。

① 3・4・11号線のオープンハウスについての取り組み
② 小金井市マスタープラン改訂に向けての取り組み
③ 市民へのアピール活動
④ 東京都と小金井市への働きかけ
⑤ 都内団体

との交流などが提案されました。最後に道路市民の会の共同代表と世話人を確認し閉会しました。

ありえない予測交通量

総会に先立って行われた江頭さんの講演は、「3・4・1号線及び3・4・11号線その必要性を検証する」と題して、東京都が道路の必要性としている交通量の将来予測の方法がどのようになっているか、またその方法は間違っていることを具体的に示しました。

江頭さんが東京都に開示請求で得た資料をもとに、小金井市内フルネット交通量(都市計画道路が完成して、道路ネットワークができた時点)を報告しました。これによれば、小金井街道の前身5丁目では2015年の24時間の交通量が9599台

であったのが、東京都の予測値は、588台となっている。こんなあり得ない交通量予測のデータで、道路を作らないと混雑するという根拠にしている。(2面の表参照)

野川ほたる村では、東京都のデータが正しいのかどうかを確かめるため、独自に交通量調査を昨年行った。その結果は表のとおりで、いずれも国交省がおこなった3年前(2015年)の交通量より減っている。(2面に続く)

周辺の交通量 (H27年は国交省交通センサス、H30年は野川ほたる村の実測調査)

道路名	観測地点	H27年	H30年	H30/H27
東八道路	多磨町4	22,620	22,333	98.7%
小金井街道	前原町5	7,384	6,536	88.5%
小金井街道	御幸町	9,536	8,902	93.4%
連雀通り	東町2	7,273	6,634	91.2%
新小金井街道	浅間町3	10,971	10,121	92.3%
新小金井街道	貫井北町3	16,750	14,859	88.7%
天文台通り	井口4	9,558	9,051	94.7%
五日市街道	桜堤3	10,245	9,999	97.6%
五日市街道	御幸町	7,591	6,893	90.8%

(数値は1日の12時間の交通量 単位:台数)

「市民の会」のホームページ ⇒ [小金井道路市民の会](https://koganeiroad.jimdo.com/)
「市民の会」のフェイスブック ⇒ [都市計画道路を考える小金井市民の会](#)

(二面からの続き)

江頭さんは、分析したデータを踏まえて、「東京都が主張する『小金井街道や新小金井街道の交通量は増加する』という状況は見られず、増加するという予測は、現実の交通量とは大きく乖離している。」と述べた。

そして、優先整備路線の第四次事業化計画の開始年である2016年の交通量予測が2005年交通センサスのデータからの予測値であるので、この予測値がどれだけ正確なのか、この予測値と実際の交通量(国交省データ)と比較したところ、小金井周辺の観測点19か所中誤差が10%以内は3か所のみ、誤差が40%以上が6か所もあるという。

しかも、3・4・1号線の必要性を示すべき小金井街道(前原5丁目)では、予測交通量が390台という、これもあり得ない交通量である。次いで、東京都の人口予測や、自動車保有台数の推移から見て、小金井市内の交通量が增大

するという報告は「非現実的」と指摘した。

これらを踏まえた検証結果として、都の交通量予測は優先整備路線の判断根拠になり難いこと、小金井の2路線は、貴重な自然破壊、コミュニティの分断など多大な犠牲と損失を伴うもので、費用対効果の面からも必要性がないことを明らかにしました。

江頭さんは、さらに小金井の水田跡緑地とハケの森に動植物が800種、絶滅危惧種が96種にのぼる貴重な生態系を持つ地域であり、これらの自然環境を次世代に引き継ぐ責任が私たちにあることを述べました。

3・4・1号線の都の動きを報告 野川ほたる村 江頭さんが講演

ら東側の部分は見直し対象にはなっていないことも指摘。

小金井3・4・1号線に関する講演会が中町で6月29日に行われました。

講師は、野川ほたる村の江頭さん。

3・4・1号線は小金井市の都市計画マスタープランで、「路線変更などの可能性について検討します」と書かれているから安心と思ったら間違いと注意を喚起しました。小金井3・4・1号線の西側の国分寺では、この3月に国分寺3・4・1号線の一部の路線の事業説明会が行われている。

さらに西側の国分寺遺跡にかかる部分が東京都は見直し対象としているが、これは国分寺遺跡が国の指定であるためであって、この国分寺遺跡の地域か

東京都は3・4・1号線の意見交換会の前に、2つの路線の概略設計を業者に発注して、作成させているので、これを都に開示請求して、入手した資料をもとに説明しました。

開示された資料には、すでにどのような道路構造にするかも検討し、3・4・1号線の橋梁案も3種類あることを示した。

3・4・1号線はムジナ坂を斜めに横断する橋梁案をスライドで説明。

3・4・1号線は大丈夫と安心している状態ではないと述べ、都の動きにどう対応していくか、考えることを呼びかけました。

H47年度とフルネットの予測交通量 東京都の予測結果 (H47年は2035年)

道路名	観測地点	H47年度	フルネット
小金井街道	前原町5	4,586	588
新小金井街道	貫井北町3	31,037	9,750
天文台通り	井口4	14,358	9,157
連雀通り	東町2	15,399	21,090

フルネットとは都市計画道路がすべて完成した時のことで、その時点での交通量を推測している

<前回の世話人会以降の活動経過>

- 6月6日 第40回世話人会 会報第39号発行
- 6月23日 道路市民の会第4回総会と講演「3・4・1号線及び3・4・11号線 その必要性を検証する」
- 6月24日 小金井市議会が<西岡市長へ「都に意見交換会継続の働き掛け」を求める決議>を採択を賛成多数で可決
- 6月26日 多摩地区道路連絡会
- 6月27日 3・4・11住民の会世話人会
- 6月28日 立川3・3・30号線測量説明会
- 6月29日 3・4・1号線に関する講演会(中町4丁目のみなさんほか)
- 7月2日 品川29号線裁判
- 7月4日 第41回世話人会

<今後の日程>

- 8月8日 第42回世話人会

<これからの他地域の裁判>

- 7月6日13時~17時 東京外環道オープンハウス 吉祥寺・本宿小学校
- 7月10日14時30分 十条再開発裁判 103号法廷
- 7月15日14時 講演会「まちづくりと住民 羽村市の場合」三鷹市市民協働センター
- 7月16日16時 江戸川区スーパー堤防判決言い渡し 東京高裁101号法廷
- 7月17日13時50分 世田谷106号線裁判判決言い渡し 東京高裁808号法廷
- 7月25日15時 小平3・2・8号線判決言い渡し 東京高裁825号法廷